

<H30-No12 : 水準測量 : 問題>

次の a～e の文は、水準測量における誤差などについて述べたものである。明らかに間違っているものだけの組合せはどれか。次の中から選べ。

- a. 1 級水準測量では、標尺目盛を後視、前視、前視、後視の順に読定することにより、三脚の沈下による誤差を小さくすることができる。
- b. 観測中、日傘や覆いを用いてレベルへの直射日光を避けるのは、熱膨張による影響を避けるためである。
- c. 鉛直軸誤差は、望遠鏡の鉛直軸が傾いているために生じる誤差である。この誤差は、三脚の特定の 1 本を常に同一の標尺に向けて整置し、観測することで小さくすることができる。
- d. 標尺の誤差として零点誤差と標尺目盛誤差がある。零点誤差は往観測と復観測で標尺を入れ替えることにより小さくすることができ、標尺目盛誤差は、観測点数を偶数にすることにより小さくすることができる。
- e. 1 級水準測量における標高値の補正計算では、正標高補正計算に代えて実測の重力値を用いた正規正標高補正計算を用いることができる。

1. a, b, c
2. a, d, e
3. b, c
4. c, d
5. d, e